

枚中だより

東大阪市立枚岡中学校

No. 8 平成 29 年 11 月 29 日発行

「やればできる」と「やるからできる」

校長 田中裕章

生駒の山の紅葉も今年は少し早めに進んでいるような気がします。2学期ももう期末テストが始まり、今週末は12月です。今年一年を振り返るには少し早い気もしますが、おりに触れて自分の生活を振り返ることは決して無駄にはなりません。年末に「しておけばよかった」などと反省しないで済むように、残り1か月を有意義に過ごしたいものです。

1学期の終わりに期末懇談があって、そんな中でも、先生や家族から「やればできる」と励ましてもらった人もたくさんいます。でもこの言葉の中身は意味深長で、「やらないからできない」という意味でもあります。また、「やれば」というけれど、やること自体「やり遂げる」ということなので「努力を要する」難しいことなのです。さらに、努力しても簡単にはできないことや、工夫をしながらやっても成果が少しずつしか現れてこないものもたくさんあることも知っておかねばなりません。そのうえで継続して努力することの価値を知って、自分の生き方をつくっていくことが大切であると理解してほしいというのが「やればできる」の本音です。ですから、「やるからできる」というのが正しいのかもしれませんが、「できること」ではなく「やること」自体が大きな目標になっているということなのです。

そこで、「どうやるか」ということも問題になってきます。がむしゃらにすることも大切ですが、その中でどうやれば効率がいいかを考えねばなりません。型破りなやり方は、うまくいかないことが多いです。

歌舞伎の世界には「型をもつ人が、型を破るのが型破り、型のない人が破れば、形無し」という言葉があります。若いころには古典をしっかりと学ぶことが大切で、未熟なうちに新しいことをやっては形無しになるという代々の教えです。基礎・基本を無視して「一足飛び」を狙うのではなく、あせらずしっかりと基礎・基本を身につけていくことが型破りにつながるということを意味しています。個性を生かして大きく飛躍するには繰り返し練習し学習し、基礎・基本を身につけていくことが大切ということだそうです。

学習もスポーツもどんな技能もすべて、基礎・基本を大切に地道な努力を積み重ねた者が、成果を上げていき、「やるからできる」「やったからできた」になると思います。めんどくさがらずに始めたいものです。

枚中トピックス：頑張っています、枚中生

- ラグビー部 < 中南海内・泉北・泉南地区セブンス大会 > 10月18日
第3位
- 陸上競技部 < 東大阪市民駅伝競走大会 > 10月21日
中学生男子駅伝競走の部 第3位 76' 11"
12' 06" (区間2位) 12' 13" (区間2位)
12' 26" (区間3位) 13' 02" (区間3位)
13' 35" (区間3位) 12' 39" (区間3位)
- 柔道部 < 大阪中学校秋季大会 > 10月21日
男子団体の部 第3位 枚岡中学校
- 生活体験意見作文
< 第51回東大阪市中学校・高等学校生活体験意見作文発表会 > 11月 1日
「食べ物と命の関係」
- 英語まつり 11月10日
- 「伝えよう！いのちのつながり」 11月11日
入選
- 卓球部 < 東大阪市中学校卓球選手権大会 > 11月12日
一年女子の部 優勝
- 税についての作文 11月20日
納税貯蓄組合連合会 会長賞
- 男子バスケットボール部 < 東大阪市民大会 > 11月26日
第3位 枚岡中学校Aチーム



枚岡警察の方に SNS の使い方、トラブル等の指導にきていただきました。

期末テスト、みんな真剣に取り組んでいます。結果を振り返ることも忘れずに！

